

令和 7 年 4 月 10 日

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ワークサポート リード倉永
住 所	福岡県大字倉永83番地27
電話番号	0944-41-6377

事業所番号	4014400768
管理者名	小山 美樹
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 福岡県大牟田市：たんぼほ大牟田中央サテライトオフィス 実施日程 令和6年4月1日～令和7年3月31日 実施した生産活動の概要 国会図書館の本のデジタル化（事前確認・スキヤニング・画像校正） 利用者数 等 7名程度／支援員1名	<活動の様子> 
<目的> 地域連携活動のねらい、地域にとってのメリット、対象者にとってのメリット ①障がいのある方の継続的な工賃向上の実現 ②障害者にも利便性の高い環境を作る ③他社との関わりや連携	
<成果> 実施した結果3年目の実績があり、作業効率もスムーズで能力アップとなっている。 得られた成果 賃金向上に繋がり、また利用者の技術向上や意欲向上につながった。 課題点 PC操作技術がいる為、人材確保や利用者への指導方法をその都度検討する必要がある。	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

福岡県が設置・運営する「就労支援の場」において実施されている「国立国会図書館の蔵書のデジタル化事業」にご参加いただいております。貴重な資料を扱うこの業務では、細かなルールの遵守が求められるだけでなく、高い品質基準と厳格な納期を満たす必要があります。こうした業務特性を十分に理解しながら、各工程において利用者一人ひとりの能力が最大限に発揮できるよう、日々丁寧に取り組んでいただいております。

その結果、昨年度も計画した生産数を上回る納品を実現し、国立国会図書館の厳しい品質基準をクリアすることができました。貴事業所の安定した業務遂行能力と、継続的な品質向上への取り組みに感謝申し上げます。今後もより良い連携を図りながら、事業の発展に向けて引き続きご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

今後の連携強化に向けた課題

現時点で大きな課題は感じておりませんが、強いて言えば、さらなる連携強化のためには生産管理の最適化や品質向上の取り組みが挙げられます。安定した納品を維持するため、進捗管理の工夫や技術研修の充実が求められる場面もあるかもしれません。また、業務の円滑化に向けて関係者間の情報共有をよりスムーズにする仕組みを検討できればと考えています。

連携先企業名	特定非営利活動法人 セルフセンター福岡	担当者名	セルフセンター福岡 宮地 博司
--------	---------------------	------	--------------------